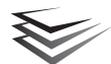
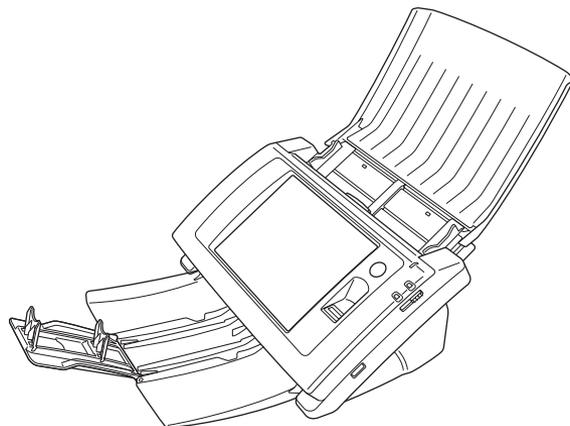


Canon

 imageFORMULA

ScanFront 300/300P

セットアップガイド
最初にお読みください



ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

■ 国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの「対象製品に関する基準を満たしていると判断します。」



本製品は、工場出荷時の設定では本体を操作しないまま 12 分経過するとローパワーモードに移行します。ローパワーモードに移行する時間は最長 230 分まで変更できますが、工場出荷時の設定での使用をお勧めします。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って、正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

■ JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品に適合しています。

■ ご注意

- ・本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- ・本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容については万全を期して作成しましたが、運用した結果の影響につきましては、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 複製についてのご注意

- ・紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、または公共団体や民間団体発行の免許証、許可書、公文書、私文書などの複製は違法となり、処罰の対象となります。
- ・書籍、絵画、版画、地図、図面などの著作物の複製は、自己の使用以外の目的でお使いになることは禁じられていますのでご注意ください。

■ 商標および登録商標について

- ・imageFORMULA は、キヤノン電子株式会社の商標です。
- ・Microsoft、Windows、Internet Explorer、Active Directory、は、米国マイクロソフト社の米国および他の国における登録商標または商標です。
- ・Adobe、Acrobat、および Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- ・その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

■ 免責事項

本製品を用いて読み取る原稿、または読み取った画像イメージの保管や管理についてはお客様の責任で行ってください。

また、読み取った原稿を破棄する場合は、必ず、読み取り画像イメージをしっかりと精査し、欠落のないことを確認した上でお客様の責任において行ってください。

なお、当社が本製品に対して行う保証は、いかなる場合においても本製品の代金としてお客様が支払った金額を超えることはありません。予め、ご了承ください。

■ 著作権

libtiff

Copyright (c) 1988-1996 Sam Leffler

Copyright (c) 1991-1996 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

libjpeg

Portions of this software are based in part on the work of the Independent JPEG Group.

MD5

derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm

Copyright (c) 1998 - 2002, Paul Johnston & Contributors

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of the author nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

(Hg) LAMP(S) INSIDE THIS PRODUCT CONTAIN MERCURY AND MUST BE RECYCLED OR DISPOSED OF ACCORDING TO LOCAL, STATE OR FEDERAL LAWS.

□ 目次

はじめに	1
ScanFront 300/300P について	1
マニュアルの構成について	2
マニュアル内の表記について	2
ScanFront のセットアップについて	3
1. 付属品の確認	4
2. 保護部材の取り外しとフィードローラーの 取り付け	5
3. 設置とネットワークへの接続	7
設置場所について	7
AC アダプターの接続	8
ネットワークケーブルの接続	8
4. 電源のオン / オフ	9
電源のオン	9
電源のオフ	9
5. セットアップ	10
ネットワーク設定	11
日時の設定とタイムゾーンの確認	13
メールサーバの設定	14
6. スキャン手順について	15
7. 付属アプリケーションについて	18
ScanFront Service	18
ScanFront Administration Tool	18

はじめに

このたびはキヤノンネットワークスキャナー「imageFORMULA ScanFront 300/300P」をお買い求めいただきありがとうございます。

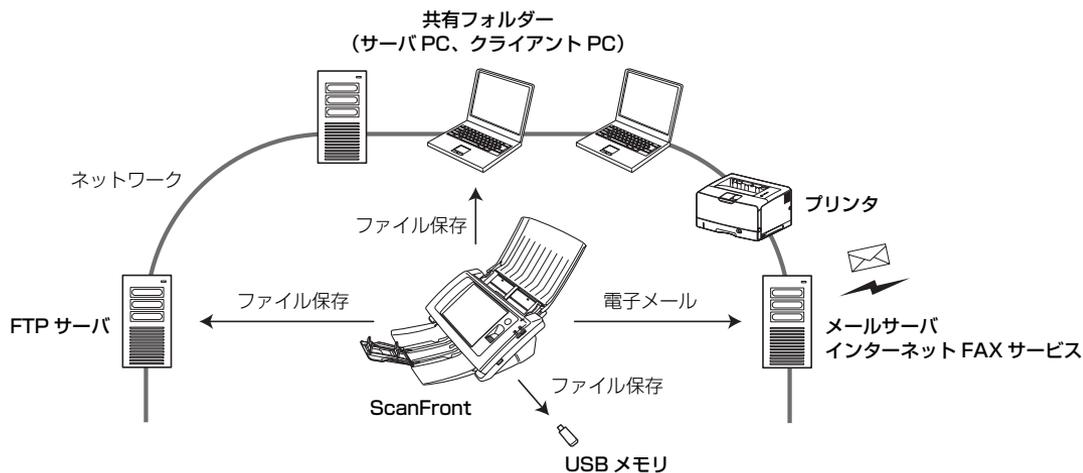
本機の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために本機をご使用になるまえに本書をよくお読みいただくとともに、お読みになったあとは必ず保管してください。

□ ScanFront 300/300P について

ScanFront 300/300P は、コンピューターと接続しないでスキャンすることのできるネットワークスキャナーです。ScanFront 300/300P でスキャンした画像は、ネットワーク上のサーバ PC やクライアント PC の共有フォルダーや FTP サーバに転送したり*、プリンタに送信して印刷したり**、電子メールまたはインターネット FAX サービスによる遠隔地への配信が可能です。また、ネットワーク環境のない場所でも USB メモリに画像ファイルを保存できます。

* セグメントが異なるネットワーク上の PC の共有フォルダーに画像ファイルを送信するためには、同梱されている ScanFront Service をネットワーク上の任意の PC にインストールする必要があります。

** プリンタに画像ファイルを送信するには、本製品に同梱されている ScanFront Service をネットワーク上の任意の PC にインストールする必要があります。



ScanFront 概念図

□ マニュアルの構成について

本製品のマニュアルは以下の構成になっています。本製品をお使いになる前によくお読みください。

セットアップガイド（本書）

ScanFront を使えるようにするまでのセットアップの手順について書かれています。ScanFront の詳細については以下のオペレーションガイドおよび取扱説明書（電子マニュアル）を参照してください。

オペレーションガイド

ScanFront の概要と、ユーザが ScanFront を使用するための操作手順について書かれています。ScanFront の設定については以下の取扱説明書（電子マニュアル）を参照してください。

取扱説明書（電子マニュアル）

取扱説明書は、付属の取扱説明書/アプリケーションCD-ROM に収納されているPDF形式の電子マニュアルで、ScanFront の概要から取り扱い、メンテナンス、トラブルシューティングなど、ScanFront を取り扱う項目全般について説明しています。

□ マニュアル内の表記について

本製品のマニュアルで使用している記号・表示について説明します。マニュアルをお読みになる前に、ひととおり目を通して、その意味を理解しておいてください。

(→ P.1- xx)

参照ページを表します。カッコ内の数字は、書かれていることについての詳しい説明が記載されているページ数です。

注意

取り扱いを誤った場合に、傷を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要

操作上必ず守っていただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。

ヒント

操作の参考となることや補足説明が書かれています。必ずお読みください。

ScanFront のセットアップについて

ScanFront 300/300P のセットアップは、以下の手順で行います。

1. 付属品の確認 (→ P.4)

ScanFront の付属品を確認します。

2. 保護部材の取り外しとフィードローラーの取り付け (→ P.5)

ScanFront を保護している保護部材を取り除き、付属のフィードローラーを本体に組み込みます。

3. 設置とネットワークへの接続 (→ P.7)

ScanFront を設置場所に移動して AC アダプターとネットワークケーブルを接続します。

4. 電源のオン/オフ (→ P.9)

ScanFront の電源は、「電源スイッチ」でオンにし、操作パネルに表示されている「電源オフ」ボタンで電源をオフにします。

5. セットアップ (→ P.10)

ScanFront のセットアップは、ScanFront 本体で設定する「管理者設定」と、コンピューターの WWW ブラウザーによる「Web メニュー」で行います。本書では、ScanFront 本体で設定するネットワークと、Web メニューによる日時の設定とタイムゾーンの確認、電子メールを送信するためのメールサーバの設定について説明します。その他の設定項目および詳細については、別冊のオペレーションガイド、および取扱説明書（電子マニュアル）を参照してください。

* Web ブラウザーは、Microsoft Internet Explorer 6.0 以降または Firefox 3.5 以降を使用してください。

• ネットワーク設定

ネットワークに接続するための「デバイス名」と「IP アドレス」の設定を ScanFront 本体の「管理者設定」で行います。(→ P.11)

• 日時の設定とタイムゾーンの確認

Webメニューにログインして日時の設定とタイムゾーンの確認を行います。(→ P.13)

• メールサーバの設定

電子メールを送信するためのメールサーバを登録します。(→ P.14)

6. スキャン手順について (→ P.15)

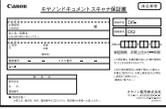
ScanFront の操作手順としてホーム画面からのスキャンの手順の概要を例として説明しています。手順の詳細については別冊の「オペレーションガイド」および「取扱説明書（電子マニュアル）」を参照してください。

7. 付属アプリケーションについて (→ P.18)

同梱の取扱説明書/アプリケーション CD-ROM に収録されているアプリケーション(ScanFront Service と ScanFront Administration Tool) について説明します。

1. 付属品の確認

ScanFront を取り出したら以下の付属品が同梱されていることを確認します。万一、不足品や損傷品があった場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

	<p>ScanFront</p>		<p>セットアップガイド (本書)</p>
	<p>フィードローラー フィードローラーは、設置時に本体に組み込んで使用します (→ P.5)</p>		<p>オペレーションガイド</p>
	<p>AC アダプター* (コード長：1.5m)</p>		<p>取扱説明書 / アプリケーション CD-ROM*</p>
	<p>電源コード** (コード長：1m)</p>		<p>保証書</p>

* 取扱説明書 / アプリケーション CD-ROM には「セットアップガイド」、「オペレーションガイド」、「取扱説明書」が PDF 形式の電子マニュアルで収録されています。電子マニュアルを閲覧するためには、アドビシステムズ社の Adobe Acrobat または、Adobe Reader が必要です。

** AC アダプターと電源コードは必ず付属品をお使いください。

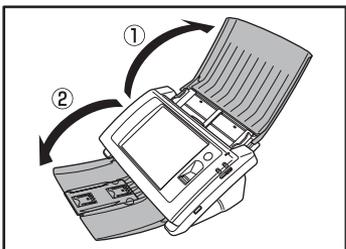
2. 保護部材の取り外しとフィードローラーの取り付け

ScanFront を保護している保護部材を全て取り除き、フィードローラーを本体に組み込みます。

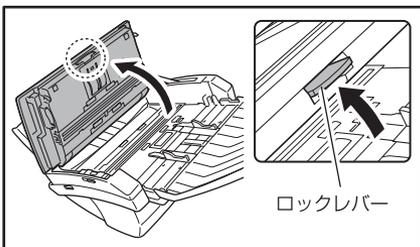
1. 外装を止めているオレンジ色のテープ(3ヶ所)と保護シートを取り除きます。



2. 排紙トレイを静かに開きます。



3. ロックレバーを手前に引いて、パネルユニットを止まるところまで開きます。

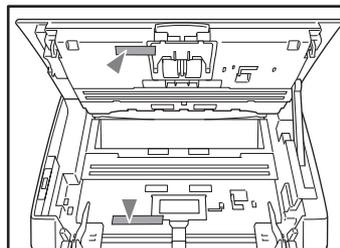


⚠ 注意

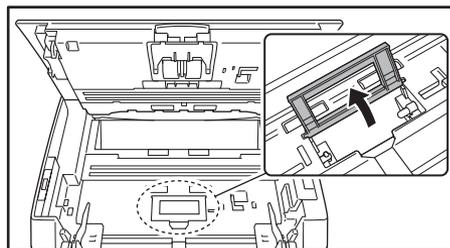
パネルユニットの開閉に連動して排紙トレイが上下します。パネルユニットを開くときは、排紙トレイを押さえないでください。



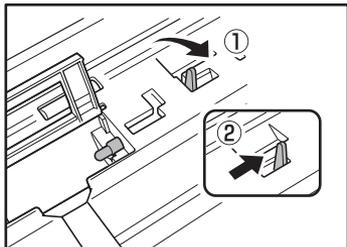
4. ローラーカバー (2ヶ所) を固定しているオレンジ色の保護テープを取り除きます。



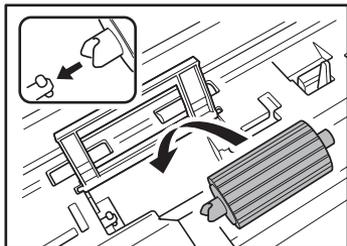
5. フィードローラー用のローラーカバーを開きます。



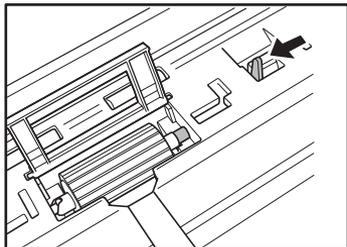
6. 固定レバーを起こし (①)、矢印方向にスライドさせます (②)。



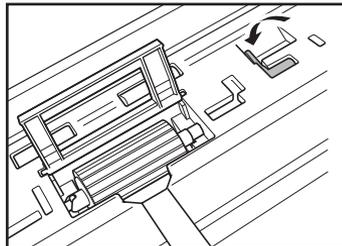
7. ローラーの軸の切り欠き部を本体の軸に合わせて、フィードローラーをセットします。



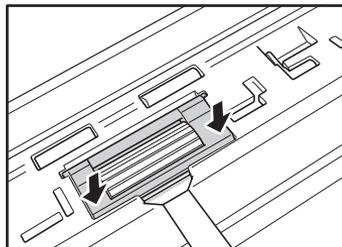
8. 固定レバーを矢印方向に動かし、フィードローラーの軸の穴に、はめ込みます。



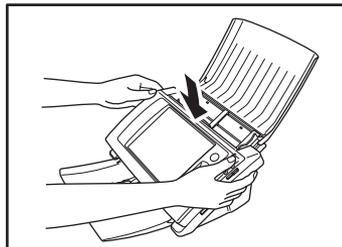
9. 固定レバーを倒してフィードローラーを固定します。



10. ローラーカバーを閉めます。カチッと音がしてカバーが元の位置に戻ったことを確認します。



11. パネルユニットをゆっくり閉じます。そして、ユニットの両側を押し、カチッと音がしてロックされたことを確認します。



12. 排紙トレイを静かに閉じます。

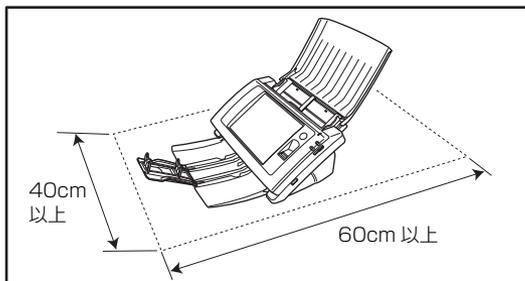
3. 設置とネットワークへの接続

ScanFront を設置場所に移動して、AC アダプターとネットワークケーブルを接続します。

□ 設置場所について

本機の性能は、設置されている環境によって影響を受けることがあります。設置する場所が次の環境条件に合っていることを確認してください。

- 本機の周りには操作、保守、換気のためのスペースを十分確保してください。



- 直射日光の当たる場所は避けてください。やむをえない場合は、厚いカーテンなどで日光をさえぎってください。
- ほこりの多い場所は避けてください。ほこりは本体内部に悪影響を及ぼすことがあります。
- 水道の蛇口、湯沸器、加湿器など高温、多湿になる場所の近くや、アンモニアガス、シンナーなどが発生する場所は避けてください。
- 不安定な場所や、振動しやすい場所は避けてください。
- 温度が急激に変化する場所は避けてください。本体内部で結露が発生すると品質低下の原因になります。以下の環境下でお使いください。
室温 10℃—32.5℃
湿度 20%—80%RH
- スピーカーやテレビ、ラジオなど磁気を発生する機器の近くは避けてください。

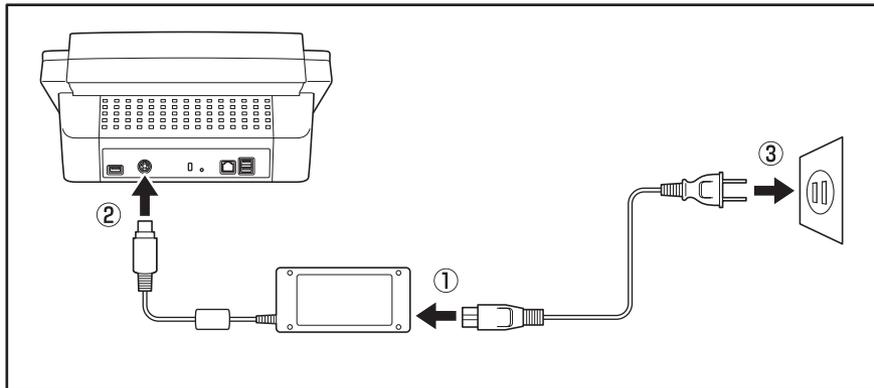
□ AC アダプターの接続

付属の AC アダプターを、下図の手順で接続します



注意

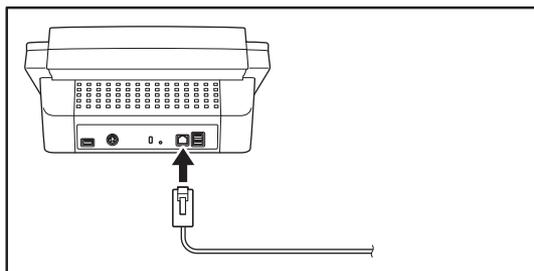
AC アダプターと電源コードは、必ず付属品を使用してください。



- ① 電源コードと AC アダプターを接続します。
- ② AC アダプターの電源プラグを電源コネクタに差し込みます。
- ③ 電源プラグをコンセントに接続します。

□ ネットワークケーブルの接続

ネットワークケーブルのコネクタ (RJ-45) を LAN ポートに差し込みます。

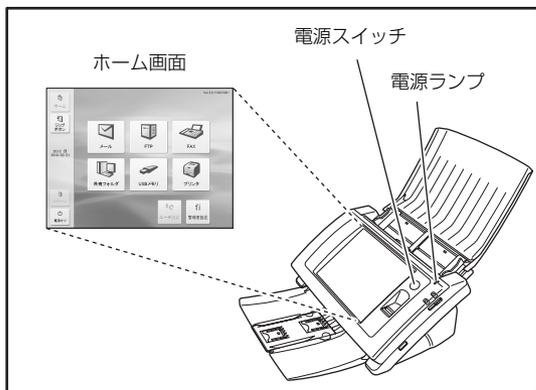


4. 電源のオン / オフ

ScanFront の電源は、「電源スイッチ」でオンにし、操作パネルに表示されている「電源オフ」ボタンで電源をオフにします。

□ 電源のオン

電源スイッチを押して、ScanFront の電源をオンにします。電源ランプが点灯し、ホーム画面が表示されます。



❗ 重要

- 電源スイッチをオンにしてからホーム画面が表示されるまで約40秒かかります。
- 電源ランプが点灯した状態でパネルが表示されていないときは、ディスプレイオフモードによりパネルの表示がオフになっています。このようなときは、パネルを押すことによりディスプレイオフモードから復帰します。(→ ScanFront 300/300P 取扱説明書 P.6-30 「デバイス動作設定-ディスプレイオフ」)
- 電源ランプが点滅した状態でパネルが表示されていないときは、ローパワーモードにより ScanFront の動作が停止しています。ローパワーモードから復帰するには、電源スイッチまたはタッチパネルを押します。(→ ScanFront 300/300P 取扱説明書 P.6-30 「デバイス動作設定-ローパワーモード」)

□ 電源のオフ

パネル左下にある「電源オフ」ボタンを押して電源をオフにします。



❗ 重要

- ScanFront の電源を入れ直すときは、電源をオフした後、約5秒間待ってから電源をオンにしてください。
- ScanFrontが動作しなくなったときは、電源スイッチを長押しすることにより、システムがシャットダウンされます。

5. セットアップ

ScanFront のセットアップは、ScanFront 本体の「管理者設定」でネットワーク設定を行い、Web メニュー（管理者モード）により各種設定を行います。

本章では、ScanFront 本体の「管理者設定」によるネットワーク設定（→ P.11）と、Web メニュー（管理者モード）による時刻とタイムゾーンの確認と設定（→ P.13）、電子メールで画像を送信するためのメールサーバの設定（→ P.14）の概要について説明します。詳細および、その他の設定項目については、取扱説明書（電子マニュアル）を参照してください。

以下の項目は、ScanFront の設定の一部です。ScanFront をお使いになるネットワークの規模や環境によって設定する項目は異なり、ScanFront を最小限の設定で使用するためには、「ネットワーク設定」の他に、「共有アドレス帳」への宛先の登録が必要です。

設定項目	設定内容	管理者設定	Web メニュー (管理者モード)
ネットワーク設定	デバイス名と IP アドレスを設定します。	○	○
管理者パスワード	「管理者設定」、「Web メニュー」へのログインを制限するパスワードを設定します。	○	○
ログインタイプ	ユーザがログインする際のログイン画面を選択します。	○	○
ユーザ登録	ScanFront を使用するユーザを登録します。	—	○
共有アドレス帳登録	全てのユーザが使用するアドレス帳を登録します。	—	○
共有ジョブボタン登録	全てのユーザが使用するジョブボタンを登録します。	—	○
デバイス設定	ScanFront の基本動作を設定します（ネットワーク設定含む）。	—	○
メールサーバ設定	電子メールを送信するための SMTP サーバを設定します。	—	○
認証サーバ設定	Active Directory でユーザを認証できるドメインサーバを設定します。	—	○
アドレス帳サーバ設定	電子メールのアドレス帳を参照できる LDAP サーバを設定します。	—	○

□ ネットワーク設定

ScanFront をネットワークに接続するための「デバイス名」と「IPアドレス」の確認と設定を以下の手順で行います。

❗ 重要

- デバイス名はネットワーク上での識別に使用される名称で、初期設定では SF+MAC アドレスの 14 桁の英数字で設定されています。設定を変更するときは、他のデバイスと名称が重複しないように設定してください。
- IP アドレスの初期設定は、DHCP による自動取得に設定されています。DHCP サーバを使用しない場合は、[DHCP サーバ有効] のチェックをはずして固定アドレスを入力します。詳細についてはネットワークの管理部門にお問い合わせください。
- Web メニューへログインするための URL には [デバイス名] または、[IP アドレス] を使用します。[デバイス名] と [IP アドレス] は必ず控えるようにしてください。

1. 「管理者設定」を押します。

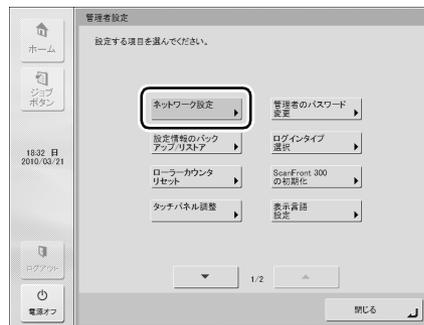


「管理者パスワード」の入力ボックスが表示されます。

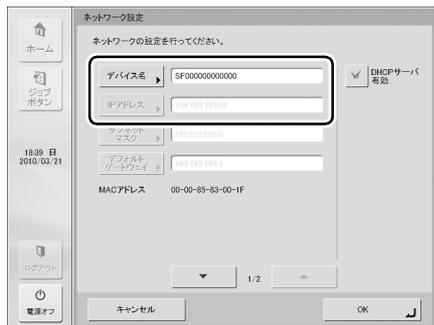
2. 「OK」を押して「管理者設定」画面を表示します。 初期状態では、管理者パスワードは設定されていません。



3. 「ネットワーク設定」を押します。



4. デバイス名とIPアドレスの設定の確認と変更を行いますし ます。



5. 「デバイス名」(または「IP アドレス」) を押します。 キーボード入力画面になります。



[シフト] を押すと大文字の入力画面になります。



6. 新しい「デバイス名」(または「IP アドレス」) を入力し、 「OK」を押します。

重要

- デバイス名は、ネットワーク上で使用される名称です。他のデバイスの名称と重複しないように設定を変更してください。
- デバイス名は、英字 (A-Z, a-z)、数字 (0-9) とハイフン (-) の組み合わせで 15 文字以内にしてください。
- デバイス名の先頭には英字 (A-Z, a-z) を使用し、末尾にハイフン (-) は使用できません。

7. 変更したデバイス名と IP アドレスを確認し、「OK」を押 します。



8. 「閉じる」を押して、ホーム画面に戻ります。

9. 「電源オフ」を押して、ScanFront を再起動します。

□ 日時の設定とタイムゾーンの確認

ネットワークの設定が完了したら、Webメニューにログインして日時の設定とタイムゾーンの確認を行います。その他の設定項目および詳細については、別冊のオペレーションガイド、および取扱説明書（電子マニュアル）を参照してください。

❗ 重要

タイムゾーンは使用している地域（日本国の場合、[東京時間]）に設定されていることを確認します。タイムゾーンが他の地域に設定されている場合、送信時間および、送信した画像ファイルのタイムスタンプがScanFrontに表示されている日時の設定と合わなくなります。

1. ScanFrontの電源をオンにします。
2. ScanFront本体の「管理者設定」でIPアドレスを確認します。（→P.11「ネットワーク設定」）
3. コンピューターでWebブラウザを起動します。
4. URLに[デバイス名]または、[IPアドレス]を入力してWebメニューを開きます。
例）デバイス名が「ScanFront300」の場合、
http://scanfront300
IPアドレスの場合、http://172.19.xxx.xxx



💡 ヒント

Webメニューの表示が日本語になっていないときは、Languageで[Japanese]を選択し、Webメニューの表示を日本語にします。



5. [ログイン] をクリックして Web メニュー（管理者モード）にログインします。

💡 ヒント

初期設定では管理者パスワードは設定されていません。管理者設定でパスワードを設定した場合、パスワードを入力してログインします。（→P.10）



6. [デバイス設定] をクリックします。



デバイス設定画面になります。

7. [言語 / タイムゾーン] の設定を確認します。



ヒント

設定を変更するときは、「言語 / タイムゾーン」または「設定へ」をクリックして設定を変更します。



言語 / タイムゾーン設定画面

デバイス設定 > 言語 / タイムゾーン

言語 / タイムゾーン	日本語
デバイスの表示言語	日本語
タイムゾーン	GMT+09:00 (日本標準時間)
日付	<input type="checkbox"/> 日付変更する 2010年03月21日
時刻	<input type="checkbox"/> 時刻変更する 1094459

OK キャンセル

重要

- タイムゾーンが正しく設定されていないと、メールの送信時間や、保存された画像ファイルのタイムスタンプが正しく保存されません。
- [サマータイムを有効にする] をチェックしたときに、正しい時刻が反映されない場合があります。この場合は、正しい時刻に再設定して下さい。

メールサーバの設定

スキャンした画像を電子メールで送信する場合は、Webメニューの「通信設定」を開き、メールサーバを登録します。詳細については取扱説明書（電子マニュアル）P.4-26「通信設定」を参照してください。



6. スキャン手順について

ホーム画面から送信する手順の概略について説明します。

その他、詳細については別冊のオペレーションガイドおよび取扱説明書（電子マニュアル）を参照してください。

1. 原稿をセットします。

2. 送信先を選択してボタンを押します。



「アドレス選択」画面が表示されます。

ヒント

送信先は「アドレス選択」画面から変更することができます。

3. 表示されている宛先を押して選択します。



ヒント

「宛先タイプ」で送信先が変更できます。

宛先は、宛先のタイプによって以下のアイコンで表示されます。

✉ : メール 📁 : 共有フォルダ 📠 : FAX

📁 : FTP 👤 : グループ

- 宛先を押すとアイコンにチェックマーク (☑) が付いて選択されます。選択されている宛先を再度押すと選択が解除されます。
- 宛先の背景に色が付いて選択されていても、アイコンにチェックマークがなければ宛先として選択されません。
- メールとグループのアイコンは、押すごとに送信条件 (To, CC, Bcc) が変わります。

☑ : To 📧 : CC 📧 : Bcc ☑ : 選択解除

重要

宛先の背景に色が付いて選択されていても、チェックマークがなければ宛先として選択されていません。

4. アドレス帳に宛先が登録されていないときは [編集] を押して、宛先を新規登録します。



ヒント

登録する宛先が自分専用の場合は、「マイアドレス帳」に宛先を登録します。詳細についてはオペレーションガイド P.3-21 「宛先の登録と編集」を参照してください。

5. 選択したアドレスにチェックマークがついていることを確認し、[次へ] を押します。

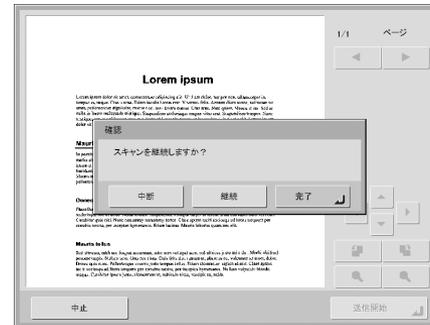


「読取 / 送信設定」画面が表示されます。

6. スキャン設定を確認し、[スタート] を押します。



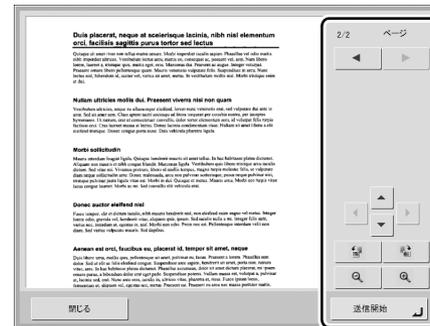
スキャンを開始し、原稿がなくなるとスキャンを終了します。



- [完了] を押すと、送信画面に移ります。
- [継続] を押すと、スキャンを再開します。
- [中止] を押すと、スキャンした画像を破棄して「読取 / 送信設定」画面に戻ります。

7. [完了] を押します。

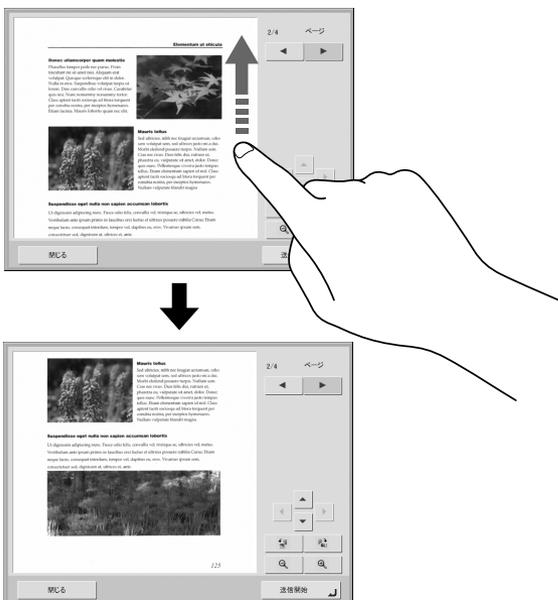
8. スキャンした画像を確認します。



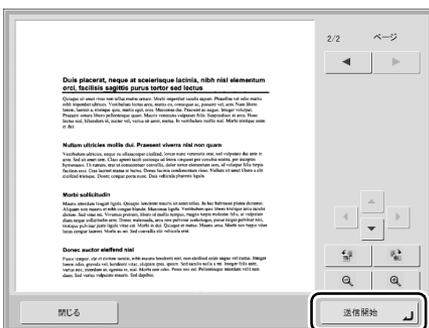
- ▶ : 次ページの画像を表示します。
- ◀ : 前ページの画像を表示します。
- ◀ ▶ : 拡大表示させた表示画像を移動します。
- ↺ : 画像を反時計方向に 90 度回転します。
- ↻ : 画像を時計方向に 90 度回転します。
- 🔍 : 画像を拡大します。
- 🔍 : 画像を縮小します。

ヒント

プレビュー画像を拡大表示しているときは、画像を指でドラッグしてスクロールできます。



9. [送信開始] を押します。



[宛先確認] 画面が表示されます。

10. 宛先を確認し、[OK] を押してスキャンした画像を送信します。



画像ファイルを送信してホーム画面に戻ります。

ヒント

画像を送信後に表示される画面は、設定によって選択できます。詳細については、別冊のオペレーションガイドおよび取扱説明書（電子マニュアル）を参照してください。

7. 付属アプリケーションについて

同梱の取扱説明書 / アプリケーション CD-ROM には、次のアプリケーションが収録されています。

□ ScanFront Service

ScanFront Service は、ScanFront のネットワーク機能を補完するソフトウェアです。ScanFront が接続されているネットワーク上にあるコンピューターにインストールすることで、ScanFront からは直接送信できない送信先（プリンタや、別セグメントにあるコンピューターなど）にもスキャン画像の送信が可能になります。

ScanFront Service をインストールするには、取扱説明書 / アプリケーション CD-ROM の下記のフォルダーにあるインストーラーをダブルクリックしてインストールしてください。

Windows 7、Windows Vista または Windows Server 2008 の場合：

Q: ¥ ScanFrontService ¥ Vista and 2008Server
Japanese ¥ setup.exe
〔「Q:」は CD-ROM ドライブのドライブ文字〕

Windows XP または Windows Server 2003 の場合：

Q: ¥ ScanFrontService ¥ XP and 2003Server
Japanese ¥ setup.exe
〔「Q:」は CD-ROM ドライブのドライブ文字〕

使用方法の詳細は別冊の取扱説明書（電子マニュアル）を参照してください。

□ ScanFront Administration Tool

ScanFront Administration Tool は、複数の ScanFront をまとめて管理するためのソフトウェアです。ネットワーク上の ScanFront の現在の状態を確認したり、ScanFront の設定やユーザ管理、設定データのバックアップ / リストアができます。

ScanFront Administration Tool は、ScanFront が接続されているネットワーク上にあるコンピューターにインストールして使用します。取扱説明書 / アプリケーション CD-ROM の下記のフォルダーにあるインストーラーをダブルクリックしてインストールしてください。

Windows 7、Windows Vista または Windows Server 2008 の場合：

Q: ¥ AdministrationTool ¥ Vista and 2008Server
Japanese ¥ setup.exe
〔「Q:」は CD-ROM ドライブのドライブ文字〕

Windows XP または Windows Server 2003 の場合：

Q: ¥ AdministrationTool ¥ XP and 2003Server
Japanese ¥ setup.exe
〔「Q:」は CD-ROM ドライブのドライブ文字〕

使用方法の詳細は別冊の取扱説明書（電子マニュアル）を参照してください。

Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6 CANON **S**TOWER